

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症の人とその家族を支える地域での支え合いとして、認知症の人の悩みや家族の身近な支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み「チームオレンジ」を整備するに至ったことから、「奥州市チームオレンジ事業」を開始します。

## 1 背景

高齢化の進展に伴い、認知症を有する高齢者が増加しています。

令和元年に策定された「認知症施策推進大綱」の基本理念は「共生と予防」であり、認知症の人とその家族を地域で支える地域支援体制の強化を目的として、認知症の人の悩みや家族の身近な支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み「チームオレンジ」を地域ごとに整備することとされています。

「チームオレンジ」の取り組みは、認知症の人と共に地域の社会資源を活かしたインフォーマルな支え合いの一つです。

## 2 市の取組

平成19年度から認知症を正しく理解し認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成してきましたが、認知症サポーターと認知症の人やその家族の支援ニーズにつなぐ仕組みがないことから、具体的な支援にまで至っていないことが課題でありました。

昨年度より「認知症サポーターステップアップ講座」を実施し具体的な支援ができるチームオレンジサポーターの養成を行い、今年度は認知症本人同士の交流会「サロンGood♡らっく」（サロン グッド ラック）を月1回開催し、認知症の人の悩みや家族

（資料）奥州市チームオレンジ事業（イメージ図）

の身近な支援ニーズとチームオレンジサポーターとの支援をつなぐ仕組み「チームオレンジ」の構築に向けて検討し、この度、事業を開始することとなりました。

事業開始にあたり、開始式を開催することで、本事業を広く市民、生活関連企業等に周知するとともに、認知症の人の社会参加を促進し、支える側、支えられる側の垣根を超えた「地域共生社会の実現」に資する「共生」の地域づくりを推進するものです。

## 3 開催日時

令和6年12月20日（金）午後1時30分から

（受付 午後1時から）

会場：水沢地区センター 視聴覚室、研修室

## 4 参加対象者

認知症の人とその家族、チームオレンジサポーター、奥州キャラバン・メイトスマイル<sup>2</sup>連絡会（認知症サポーター養成講座の講師）、奥州市認知症になっても安心まちづくり連絡会委員

## 5 内容

奥州市チームオレンジ事業の概要説明、チームオレンジバッチの交付、ハートフルメッセージ（認知症の人、チームオレンジサポーター）